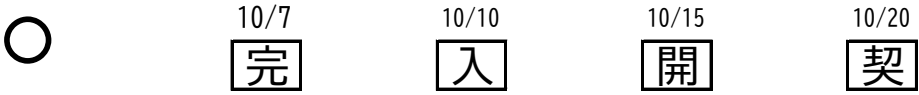


発注公告内の技術者条件として主任技術者又は監理技術者の資格や技術者の専任配置を求める場合の判断例
令和8年10月1日以降公告より適用

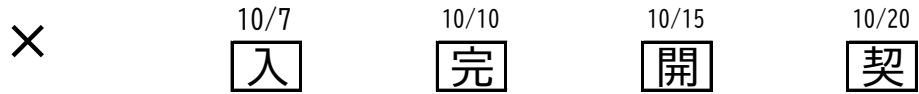
- 入**：入札参加申請提出期限
完：配置予定技術者の手持ち工事の完成工期
開：開札日
契：契約日
議：議決案件の場合は本契約日

従来の例

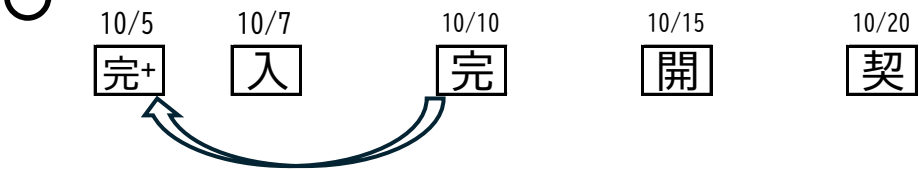
ケース① → 入札参加申請提出期限までに配置予定技術者の手持ち工事が完成しているので技術者記載可能



ケース② → 入札参加申請提出期限までに配置予定技術者の手持ち工事が完成していないため技術者配置できない。

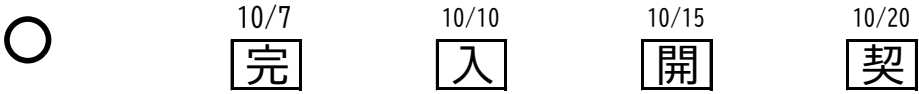


ケース③ → 入札参加申請提出期限までに本来の完成工期到来前に工事完成届を監督員が受理し復命している場合に
技術者記載可能

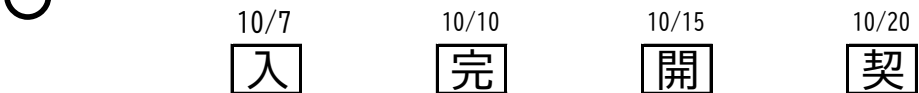


変更後の例

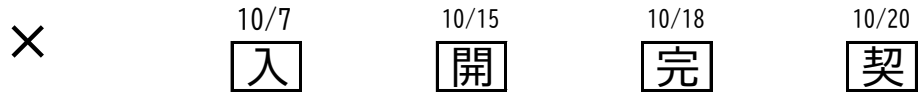
ケース④ → 入札参加申請提出期限までに配置予定技術者の手持ち工事が完成しているので技術者記載可能



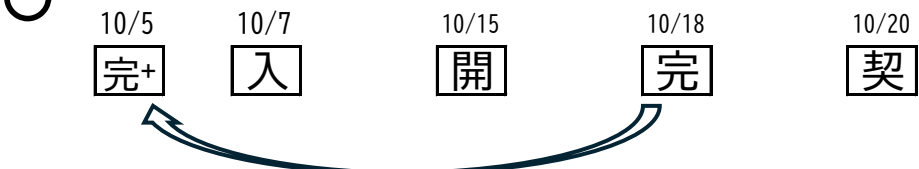
ケース⑤ → 入札参加申請提出期限に技術者が他の工事に従事中だが、開札日までに対象工事の完成工期をむかえる
ので技術者記載可能 ※「配置予定技術者調書」にその工事のCORINSを添付すること



ケース⑥ → 開札日までに配置予定技術者の手持ち工事が完成していないため技術者配置できない。



ケース⑦ → 入札参加申請提出期限までに本来の完成工期到来前に工事完成届を監督員が受理し復命している場合に
技術者記載可能



議会の議決に付すべき契約の場合（予定価格150,000千円以上の工事）

ケース⑧ → 入札参加申請提出期限に技術者が他の工事に従事中だが、議決後の本契約日までに対象工事の完成工期を
むかえるので技術者記載可能 ※「配置予定技術者調書」にその工事のCORINSを添付すること

